

# 魔の時間帯の交通事故防止

これから年末にかけて日没が徐々に早くなりますが、例年、日没が早くなる夕暮れから夜間にかけて交通事故が多発傾向にあります。

午後4時から午後8時の時間帯を「魔の時間帯」と言い、死亡事故の約3割がこの時間帯に集中しています。

夕暮れ時や夜間は、昼間に比べ周囲の見通しも悪くなり、運転者の視認性も低下し、つい、危険を見落とす場合があるので注意が必要です。



## ドライバーの皆さんへ

☆ 夕暮れは早めにライトを点灯して、自車の接近、存在を知らせましょう  
ライト点灯の目安（天候や地域によって若干時間の差があります。）

- 9月 → 午後5時
- 10月 → 午後4時30分
- 11・12月 → 午後4時

☆ 夜間はハイビーム（上向きライト）とロービーム（下向きライト）をこまめに切り替え、歩行者や自転車、障害物等を早めに発見し事故を未然に防ぎましょう

☆ 飲酒運転は絶対やめましょう

☆ 全席必ずシートベルトを着用しましょう



## 歩行者・自転車利用の皆さんへ

☆ 夕暮れや夜間の外出は、できるだけ明るい服装で、反射材を身に着けましょう

※ 参考

歩行者を発見して止まれる距離

時速60kmで 約44m

夜間の車から歩行者が見える距離

黒っぽい服装で 約26m

明るい服装で 約38m

反射材を着用すると 約57m



暗い道 命を守る 反射材



無理するな 遠くに見えても車は速い

☆ 道路を横断する場合は、できるだけ信号機や横断歩道のある場所、明るい見通しの良い場所を渡りましょう  
また、「止まる・見る・待つ・確かめる」を励行しましょう